

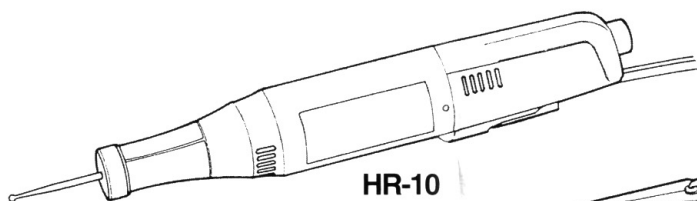
RYOBI®

ホビールータ

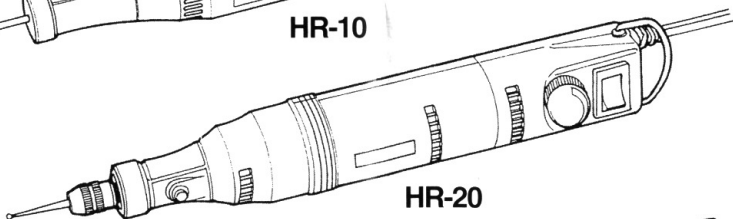
HR-10.HR-20.HR-30

取扱説明書

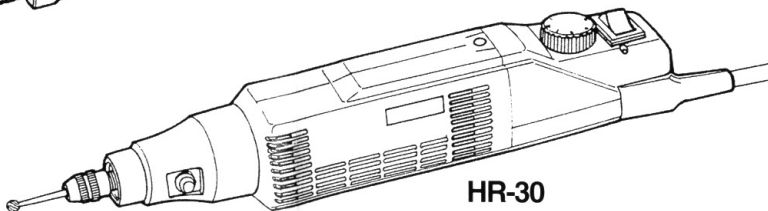
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



HR-10



HR-20



HR-30

もくじ


・安全上のご注意	1
・各部の名称	5
・仕様	5
・先端工具などの取付け、取外し	8
・先端工具のセット	11
・電源の接続とスイッチ操作	13
・ご使用方法	14
・保守と点検	15





二重絶縁


このたびは、リョービホビールータをお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで正しく、安全にご使用くださるようお願いいたします。

「シンボルとシグナル用語」の意味について

注意文の頭部に表示の「シンボルとシグナル用語」の意味を説明します。
なお、注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注：製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を少なくするため、次に述べる安全上の注意を必ず守ってください。
- 使用前に、これらすべての注意事項を読み、そして指示にしたがって使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

⚠ 警告

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護メガネを使用してください。
 - ・作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のどがった所に近づけないでください。
11. 加工する物をしっかりと固定してください。
 - ・加工する物を固定するために、クランプや万力を使用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
12. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
13. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⚠ 警告

14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・ 使用しない、または、修理する場合。
 - ・ 刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
 - ・ その他、危険が予想される場合。
15. 調節キーやスパナ等は、必ず取外してください。
 - ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
16. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・ プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 常識を働かせてください。
 - ・ 疲れている場合は、使用しないでください。
19. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店で修理を行なってください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ 本取扱説明書およびリョービカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
21. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。修理は、必ずお買上げの販売店にお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

■ホビールータで使用上のご注意

先に一般工具として共通の注意事項を述べましたが、ホビールータとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

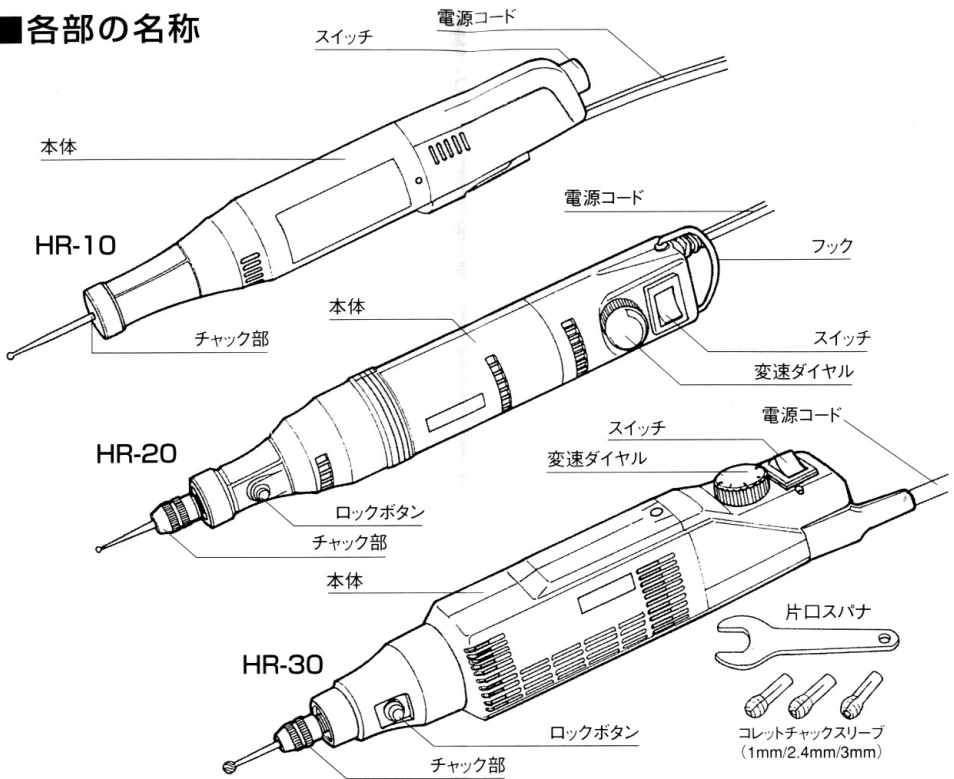
⚠ 警 告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 使用に際しては、安全のため保護メガネを着用してください。また、切削、研削粉塵を吸い込まないようにマスクの着用を心掛けてください。
3. 先端工具（アクセサリ）は純正品もしくは同等品を使用してください。異なるものを使用されると、過負荷からモーター焼けなど故障の原因となるだけでなく、けがの原因になります。
4. 先端工具（アクセサリ）のシャフトが曲がったものや、砥石などにヒビ、割れなど異常がないことを確認してから使用してください。異常があると、砥石が破損し、けがの原因になります。
5. 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
6. 水、研磨液などは使用しないでください。感電事故のもとになります。
7. 本体を、万力などで固定した使い方はしないでください。
8. 使用中は、回転部に手や顔を近づけないでください。けがの原因になります。
9. 砥石を用いて切断作業をする場合は、切断砥石を使用してください。切断砥石以外の砥石は、けがの原因になります。
10. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。事故の原因になります。
11. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。（有償修理）そのまま使用していると、事故の原因になります。
12. 誤って落としたり、ぶつけたときは、先端工具や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

⚠ 注 意

1. 先端工具（アクセサリ）は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 新しい砥石を取付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から一時身体を避けてください。砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
3. 指定以外の刃物での切断作業はしないでください。
4. コードを引っ張られたり、引っ掛けたりしないようにしてください。

■各部の名称



*工場出荷時に、HR-20、HR-30のコレットチャックスリーブ2.4mmは本体チャック部に取付けてあります。

■仕 様

	HR-10	HR-20	HR-30
電 源	AC100V・50/60Hz		
消 費 電 力	10W	20W	30W
最高モーター出力	20W	40W	100W
定 格 時 間	5分	15分	
絶 縁 構 造	二重絶縁		
回 転 数	10,000min ⁻¹ (回/分)	8,000~20,000min ⁻¹ (回/分)	8,000~20,000min ⁻¹ (回/分)
チ ャ ッ ク	φ2.4mm専用	φ 1 mm用	φ 1 mm用
		φ2.4mm用	φ2.4mm用
		φ 3 mm用	φ 3 mm用
機 体 寸 法	長さ155mm	長さ220mm	長さ250mm
	幅 26mm	幅 39mm	幅 41mm
	高さ 29mm	高さ 39mm	高さ 44mm
重 量	125g	250g	550g
付 属 品	ダイヤビット (790ダイヤビット丸頭のみ) 710ハイスビット	片ロスバナ 710ハイスビット 770軸付砥石 810切断砥石	片ロスバナ 720ハイスビット 771軸付砥石 960ワイヤブラシ

⚠ 注意

- ・定格時間以上の連続使用はしないでください。
- ・使用する場合は、必ず一度スイッチを切り(OFF)、しばらくたってから使用してください。

●別販売品 先端工具(アクセサリ)他 ☆印は本体付属品と同じです。

⚠ 警告

- ・純正品もしくは同等品以外の先端工具はもちろん、刃先径の大きな先端工具(アクセサリ)を使用したり、無理な負荷をかけたり、定格時間以上の連続使用をすると、機械故障の原因となります。
- ・必ず指定の純正品もしくは同等品の先端工具(アクセサリ)他を使用してください。

●291 布、皮、フェルトパフ (適合モデル/HR-20・HR-30)

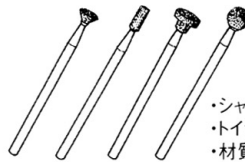
用途 金属、宝石、ガラスの超仕上げ、磨き。



- ・シャフト/φ2.35mm
- ・パフ径/φ22mm
- ・材質/布、皮パフ

●770 軸付砥石 ☆HR-20 (適合モデル/HR-10・HR-20・HR-30)

用途 ガラス、宝石、鋼の彫刻、研磨。



- ・シャフト/φ2.35mm
- ・トイシ径/φ3.0mm~φ7.0mm
- ・材質/G.C.砥石

☆HR-10・HR-20 ●710 ハイスビット (適合モデル/HR-10・HR-20・HR-30)

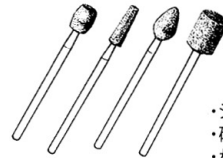
用途 鉄、アルミ、真鍮の彫刻、切削。



- ・シャフト/φ2.35mm
- ・刃先径/φ2.3mm~φ3.1mm
- ・材質/H.S.カッター

☆HR-30 ●771 軸付砥石 (適合モデル/HR-30)

用途 鉄、ガラス、陶器、宝石への彫刻、研磨。



- ・シャフト/φ2.35mm
- ・砥石径/φ3.0mm~8.0mm
- ・材質/G.C.砥石

☆HR-30 ●720 ハイスビット (適合モデル/HR-20・HR-30)

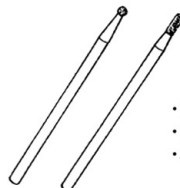
用途 鉄、アルミ、真鍮、プラスチックの切削。



- ・シャフト/φ2.35mm
- ・刃先径/φ5mm
- ・材質/S.K.カッター

●790 ダイヤビット (適合モデル/HR10・HR-20・HR-30)

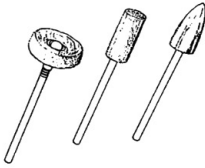
用途 ガラス、陶器の彫刻、研磨。



- ・シャフト/φ2.35mm
- ・刃先径/φ1.8mm・φ1.8mm
- ・材質/ダイヤモンド砥石

●800 純毛バフ (適合モデル/HR-20・HR-30)

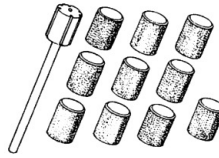
用途 磨き用。



- ・シャフト/φ2.35mm
- ・バフ径/φ8mm~φ16mm
- ・材質/純毛バフ

●980 ロールペーパー (適合モデル/HR-20・HR-30)

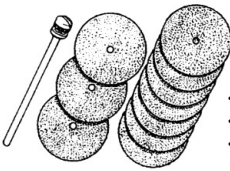
用途 研磨、仕上げ (内側、穴の研磨にも)。



- ・シャフト/φ3.0mm
- ・ロールペーパー/
外径φ10mm×内径φ8mm×10mm
- ・材質/#120ペーパー

☆HR-20
●810 切断砥石 (適合モデル/HR-20・HR-30)

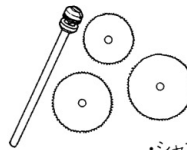
用途 細い(うすい)金属、F.R.P.の切断。



- ・シャフト/φ2.35mm
- ・切断砥石径/φ22mm
- ・材質/ルジ砥石

●830 小径丸ノコ (適合モデル/HR-20・HR-30)

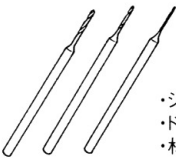
用途 木、アルミ、プラスチックの切断。



- ・シャフト/φ2.35mm
- ・丸ノコ径/φ16mm・φ19mm・φ22mm
- ・材質/鋼丸ノコ

●850 ミニドリル (適合モデル/HR-20・HR-30)

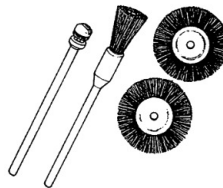
用途 金属、非鉄金属の穴あけ。



- ・シャフト/φ2.35mm
- ・ドリル/φ0.5mm・φ0.8mm・φ1.0mm
- ・材質/H.S.ドリル

☆HR-30
●960 ワイヤブラシ (適合モデル/HR-20・HR-30)

用途 鉄、非鉄金属の磨き。



- ・シャフト/φ2.35mm
- ・ブラシ径/φ22mm
- ・材質/真鍮ワイヤブラシ

※一部の先端工具(アクセサリ)は、輸入品のため
現地の事情でお断りなくサイズ等が変更されること
があります。

●用途

HR-10／ガラス彫刻、一般彫刻、彫金、模型工作など。

HR-20／ガラス彫刻、一般彫刻、彫金、金型修正、模型工作など。

HR-30／金属のみがき、金型修正、模型工作、一般彫刻など。

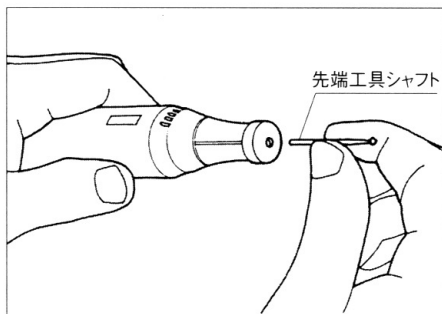
■先端工具(別販売)などの取付け、取外し

⚠ 警告

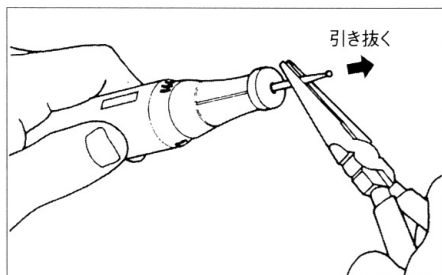
- ・ 先端工具(アクセサリ)などの取付け、取外しの際は、必ず電源コードを電源プラグより抜いてください。
- ・ 先端工具(アクセサリ)などは取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ・ 確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。作業に入る前には必ず試運転をしてください。
- ・ スイッチを入れる前にはスパナなどの工具を必ず取外してください。ロックボタンがある機種の場合は、必ずロックボタンが戻っていることを確認してからスイッチを入れてください。

{HR-10}

- 先端工具(アクセサリ)のシャフトを、チャック部先端の穴に垂直に押し込み(差込み)ます。確実に、奥に当たるまで差込んでください。

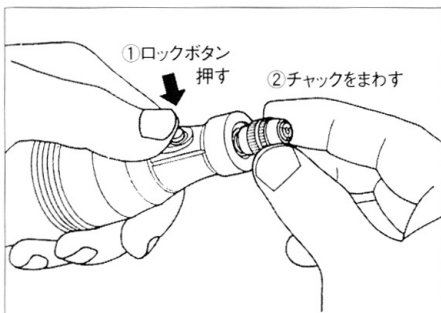


- 抜くときは先端工具(アクセサリ)のシャフト部分をペンチ、または指でつかんで引き抜きます。

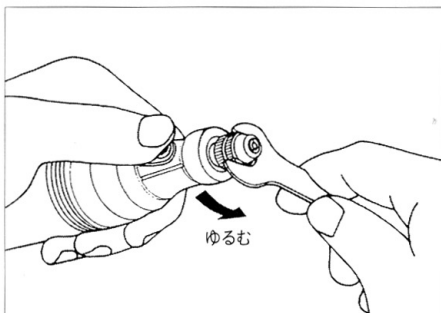


[HR-20・HR-30]

- ロックボタンを軽く押えながら、チャック部を指で回し、回転軸が固定される位置を捜し、固定します。

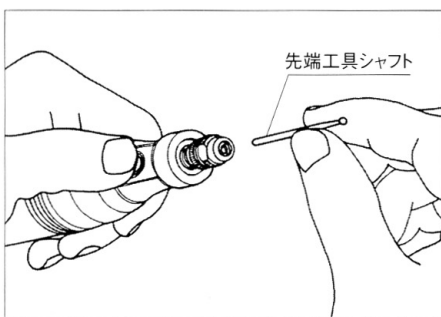


- そのまま、ロックボタンを押え、付属の片口スパナでチャックカバーを回してゆるめます。



シャフト径 ϕ 2.35mmの先端工具

- 工場出荷時に ϕ 2.4mmのコレットチャックスリーブがセットされています。
- シャフト径 ϕ 2.35mmの先端工具（アクセサリ）を取付けるときは、チャックをゆるめ（コレットチャックスリーブを抜き取らないで）、チャックの先端に、先端工具（アクセサリ）のシャフトを差込みます。
確実に奥に当たるまで入れてください。

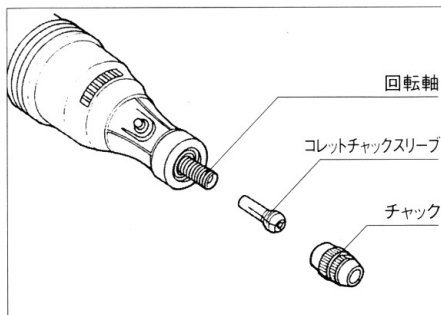


- ロックボタンを押え（回転軸を固定し）たまま、片口スパナを使いチャックを締めつけ、先端工具（アクセサリ）のシャフトを固定します。
- 先端工具（アクセサリ）を抜き取るときは、ロックボタンを押え回転軸を固定します。つぎに、チャックを片口スパナを使ってゆるめ、先端工具のシャフトを引き抜きます。



シャフト径 ϕ 2.35mm以外の先端工具

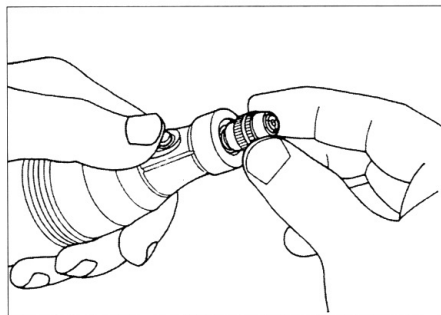
- チャックをゆるめ、取外します。
そのまま、 ϕ 2.4mmのコレットチャックスリーブを回転軸先端より取外します。



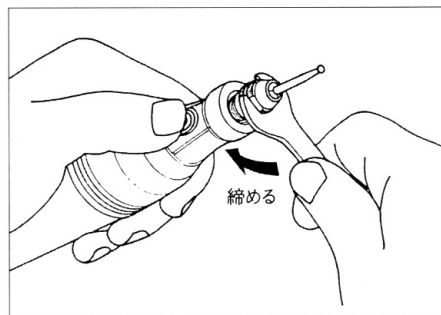
- 先端工具（アクセサリー）のシャフトに合わせたコレットチャックスリーブ（ ϕ 1mmまたは ϕ 3mm）を、回転軸先端に合わせ、入れます。つぎに、チャックをかぶせ、抜け落ちない程度に指で軽く締めます。

締めすぎると、あとで先端工具（アクセサリー）のシャフトが入りません。

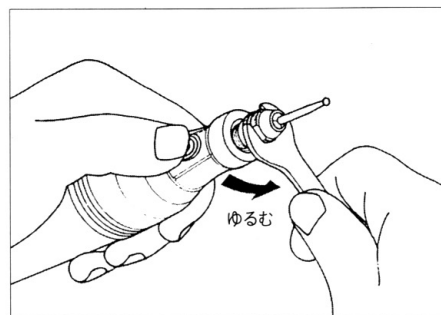
- 先端工具（アクセサリー）のシャフトを、チャックの先から奥に当たるまで入れます。
- 片口スパナを使って確実にチャックを締め付け、シャフトを固定します。



- 先端工具（アクセサリー）を取外すときは、ロックボタンを押え回転軸を固定し、片口スパナを使ってチャックをゆるめます。
- チャックをゆるめたのち、先端工具のシャフトを引き抜きます。



- ϕ 2.4mmのコレットチャックスリーブに戻すときも、同様の操作で交換します。



●先端工具(アクセサリー)(別販売)のセット

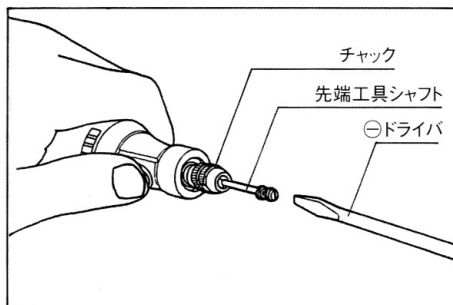
- 810切断砥石、830小径丸ノコ、960ワイヤブラシ、980ロールペーパー
(HR-20、HR-30用 機種によっては別販売品です。)

⚠ 警告

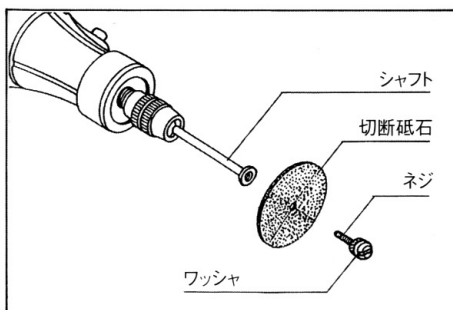
- ・ 切断砥石は薄くて割れやすいので、取扱いには充分注意してください。
- ・ ヒビや欠けのあるものは絶対に使わないでください。
- ・ 必要以上に締め付けると割れやすくなります。
また、締め付けのゆるいものは危険です。
シャフトへの取付け後は、身体から離れた状態で、必ず試運転をしてください。

●810切断砥石、830小径丸ノコ、960ワイヤブラシ

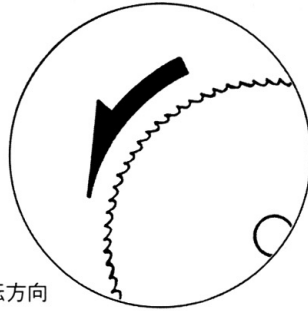
- 先端工具(アクセサリー)のシャフトをペンチまたは、ホビーツールのチャックでつかみ、確実に固定したのち、お手持ちの⊖マイナスドライバでシャフト先端のネジをゆるめ、取外します。



- お使いになる、切断砥石(またはワイヤブラシ、小径丸ノコ)の中央穴に、ネジの軸を通したのちシャフトにネジを締め付けて、取付けます。

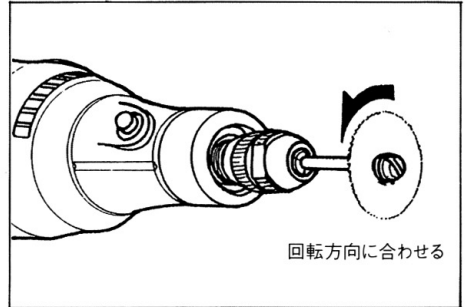


- 小径丸ノコの場合は回転方向を確認したのち、シャフトに取付けてください。



回転方向

- 取付けはシャフトと垂直に固定されるよう、確実に締め付けて取付けてください。
- 使用に際しては、時々ゆるみなどが無いよう点検してください。



回転方向に合わせる

●980ロールペーパー

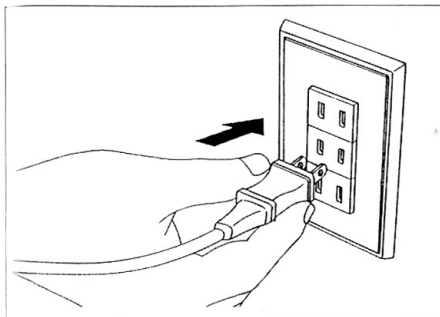
- ロールペーパーの内側へ、軸先端のゴム部分を指で押え、押し込みます。確実にセットしてください。

●電源の接続とスイッチ操作

⚠ 警告

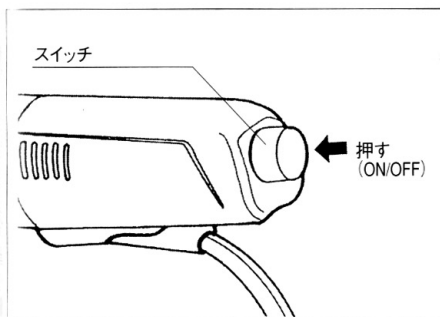
- 電源コード先の電源プラグを電源コンセントに接続するときは、必ずスイッチが切れていることを確認してください。
スイッチが入ったまま電源を接続すると危険です。
- 使用後や点検、先端工具（アクセサリ）の交換の際は、必ず電源プラグを電源コンセントから外してください。

- 電源コード先の電源プラグを、所定の電源コンセントに確実に差し込んで接続します。
電源の接続ができましたら、スイッチを操作します。



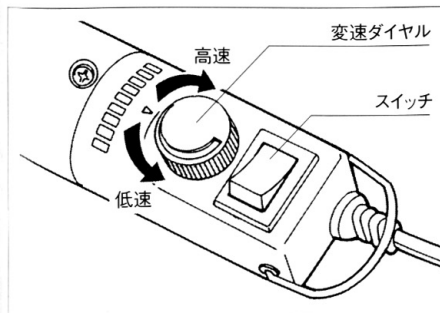
(HR-10)

- スイッチは一度押すと入り（ON）、もう一度押すと切る（OFF）となります。
確実に操作をしてください。



(HR-20・HR-30)

- スイッチはON側を押すと入り、OFF側を押すと切るとなります。
- スイッチ横のダイヤルを右にまわすと高速となり、左にまわすと低速になります。
加工材の材質、お使いになる先端工具（アクセサリ）に合わせて回転速度を調節してください。



■ご使用方法

⚠ 警告

- 巻込み事故防止のため、手袋等の着用は絶対にしないでください。
- 目を保護する保護メガネを着用してください。
- 作業中は、目を先端工具部分に近づけないでください。
- 機体や先端工具（アクセサリ）に衝撃をかけますと砥石にヒビが入ったり割れたりする恐れがありますので、取扱いには十分注意してください。
- 必要以上に押え付けないでください。作業効率が悪いだけでなく、機械に余分な負担がかかり、故障や先端工具（アクセサリ）の変形、破損事故の原因となります。
- 万一機体を誤ってぶつけたり、落としたりしたときは必ず砥石のヒビ割れや、機体に破損などがないことを十分にご確認ください。

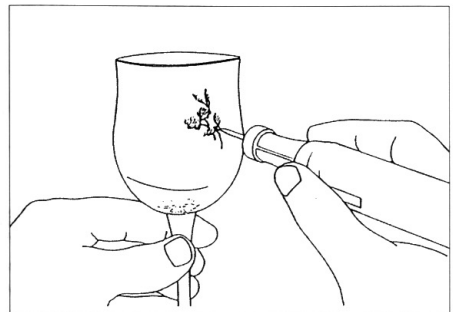
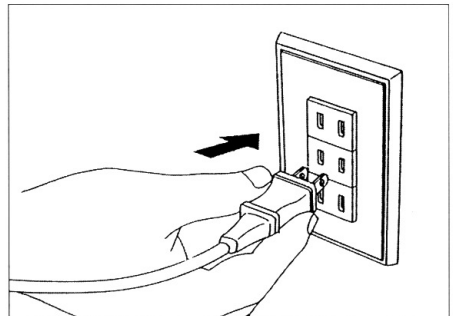
- 電源プラグを電源コンセントに接続する前に、先端工具（アクセサリ）がチャック部に確実にセットされていることを確認してください。
- 身体を安定した姿勢にし、加工材をしっかりと保持するか、ものによっては固定するなどしてください。
- スイッチが切る（OFF）、となっていることを確認してから、電源を接続します。
- スイッチを入れ（ON）、回転が安定してから作業を開始してください。
- 回転がいちじるしく落ちるほど、強く押さないでください。
- 作業の途中で、先端工具（アクセサリ）を交換するときは、スイッチを切った（OFF）のち、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 先端工具が熱くなっていることがあります。手でさわっても熱くない程度まで冷えたことを確認してから、交換作業をしてください。
- 作業中、機体が熱くなったときは一旦作業を中断し、冷えてから再開してください。定格時間以上使用しないでください。

HR-10.....定格時間5分

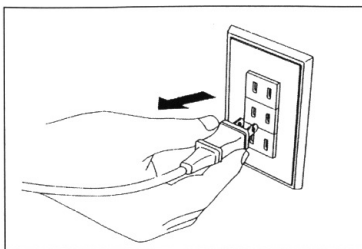
HR-20・HR-30.....定格時間15分

⚠ 注意

高価な材料、及び滑りやすい材料を加工する場合は、加工材をしっかりと保持固定し、慎重に作業を行ってください。



- 使用後は、スイッチを切った（OFF）のち、電源コンセントから、電源プラグを抜いてください。
- 電源プラグは、必ず手で持って抜いてください。コード部分を持って引き抜かないでください。
- 回転が止まっていることを確認してから、粉塵などを取り除き、次の使用に備えてください。



■保守と点検

- 使用後は、粉塵などを取り除いたのち先端工具（アクセサリー）を取外して保管してください。
- 使用後は、次の使用に備えてネジ類のゆるみや、異常な箇所が無いことを確認しておいてください。万一、異常があったときはそのまま放置せず、お買上げの販売店または最寄りのリョービ販売営業所に点検、修理を依頼してください。（有償修理）
- 先端工具（アクセサリー）は乾いた布などで汚れを拭き取り、サビ防止のため、薄くサビ止め油などを塗っておいてください。
- 本体の汚れは乾いた布で軽く汚れを拭き取るようにしてください。チャック部分には、サビ防止のため薄くサビ止め油を塗っておいてください。
- 本体は防水構造ではありませんので、絶対に水などを付けて洗ったり拭いたりしないでください。また、絶対に揮発系の溶剤やガソリン、シンナーなどでも洗ったり、拭いたりしないでください。変形、変色の原因となります。
- 保管は小さいお子様の手が届かない、室内の安定したところにしてください。また、湿気がなく、直射日光の当たらない涼しい場所で、高温にならないところに保管してください。

部品ご入用、故障の際、その他取扱上ご不明の点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

*改良のため、お断りなく製品仕様が変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

リョービ株式会社